

門真市のザイトク施策についての6/6質問書

市民生活部：市原部長 殿

2014年6月6日(金)

門真市議：戸田ひさよし

本質問書は、6月議会でのザイトク問題質問の準備として行なうものなので、週明けの6/10(火)の夕刻までに、当方に文書とメールにて回答を寄せられたい。

Q1：「住民の安全と尊厳を守るのが行政の責務である」という考えは、行政として当然の事であり、これを否定する行政は無いと思うが、門真市としてもそのように認識しているはずだが、どうか？

(「住民の安全と尊厳を守る行政責務」という言葉、もしくは「住民の安全と尊厳を守るのが行政の責務である」という言葉を使う形で回答されたい)

Q2：「住民の安全と尊厳を守る行政責務」という言葉や概念については、私が2011年9月議会を皮切りにザイトク（ヘイトスピーチ勢力）問題について議会で取り上げつつ適切な概念を模索してきた経過の中で、2013年3月議会本会議一般質問で、

門真市は他市に先駆けて、「民族差別や罵声暴力行為に対しては、住民の安全と尊厳名誉を守る立場で毅然たる対応を取る」行政姿勢を明示し続けている。

という表現を使い、市もまたその事実を認める立場で答弁した事を契機として、それ以降、私にとっても門真市にとっても、門真市の人権行政・反ザイトク施策のキーワードとして共通の認識になったものである。

これについては、市も異議がないはずだが、どうか？

以上です。よろしく。